

# (4) 三重県港湾みらい共創本部

- 多様な関係者と協働し、港湾が関わる新たな課題に対応することなどを目的に「三重県港湾みらい共創本部」を設置し、港湾の脱炭素化や港湾を用いた地域の活性化に向けた様々なプロジェクトを計画、推進
- 津・松阪港、尾鷲港、鳥羽港の3港をモデル港湾として抽出、各港湾での取組等を踏まえ、16港湾へ横展開を検討

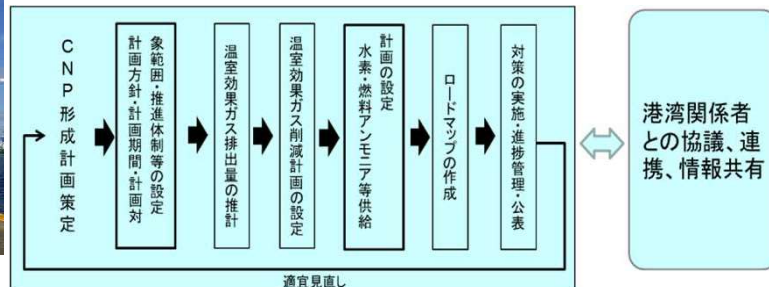
## 三重県 港湾みらい共創本部

本部長：知事 副本部長：両副知事  
 本部長：戦略企画部長、環境生活部長、南部地域活性化局長、農林水産部長  
 雇用経済部長、観光局長、県土整備部長  
 ※オブザーバー：四日市港管理組合 経営企画部長

### ○主な検討項目

#### (1) 港湾の脱炭素化

重要港湾でのカーボンニュートラルに向け  
 CNP形成計画の策定



#### (2) 港湾による地域産業活性化

林業や水産業、工業など港湾と連携した地域産業の活性化に資する港湾の取組の検討



#### (3) 港湾を利用した観光活性化

クルーズ、マリンレジャーなど、港湾と連携した観光振興に資する港湾の取組の検討



4/28 第1回本部会議 開催

- ・モデル港湾の抽出
- ・関係者ヒアリング実施など

11/21 第2回本部会議 開催

- ・方針案検討
- ・関係者との対話・協議など

#### ●基本方針の策定

- ・関係者との対話・協議
- ※本部員会議を適宜開催

令和6年度末

- ・カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画策定
- ・活性化の取組プロジェクト作成  
 ※可能なものから着手

令和4年度

令和5年度

令和6年度

# 把握した課題と今後の進め方について

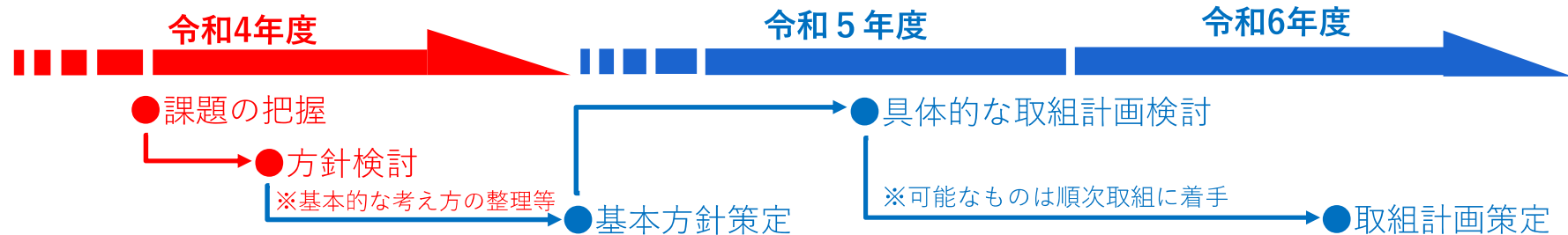
- ヒアリングなどにより把握した課題を4種類に分類し、それぞれについて基本的な考え方を整理
- 今後、港湾利用者、関係機関との対話等を進めながら、各港湾の特性に合わせた基本方針の策定や具体的な取組計画についての検討を進め、令和6年度を待たず、出来るものから取組を行う

## ◎課題の分類と基本的な考え方

課題の種類	検討項目との関連	課題解決に向けた基本的な考え方
維持修繕など港湾管理に関する課題	②、③	効果的な港湾利用に結びつく、具体的な維持管理に向けた取組について検討を進める
利用促進に向けた港湾施設に関する課題	①、②、③	後背地の産業集積地等との連携、ニーズに合わせた施設配置など、利用促進に向けた取組について検討を進める
関係市が進めている取組に関する課題	②、③	港湾管理者として協力するため、進めている取組についての詳細なヒアリングや対話を進める
脱炭素化に向けた取組に関する課題	①	まずは、ヒアリング企業を中心に港湾の脱炭素化の取組への参画を求めていく

※「脱炭素化に向けた取組に関する課題」については、津松阪港、尾鷲港が対象

## ◎スケジュール(イメージ)



※共創本部の主目的である港湾の脱炭素化、産業活性化、観光活性化毎の分類は、モデル港湾での具体的な取組内容を踏まえて整理